

「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」一覧（平成30年8月末現在）

No.	ちば文化資産の名称	資産の概要	所在市町村
1	イナゲ センゲンジンジャ マツバヤシ 稲毛の浅間神社と松林	大同3年(808年)の創建と伝えられ、千葉常胤以来、代々の千葉氏の信仰が篤かったと言われています。安産・子育ての神様として厚く信仰されるとともに、かつて海辺であった名残りの松林が周辺に残っています。子供を抱いてもらおうと健康に育つといわれる「陣中安産の舞」や「スサノオノミコトのオロチ退治」などの神楽も伝えられています。	千葉市
2	イノハナジョウシ 猪鼻城址	1126年に千葉氏の城下町として成立したと伝わる中世千葉の町は、現在の千葉神社から猪鼻城址周辺に広がっていました。現在でも猪鼻城址周辺には、千葉氏ゆかりの羽衣の松やお茶の水の伝説の場所や、中世仏を伝えた古寺が多く残されています。	千葉市
3	カソリカイヅカ 加曽利貝塚	直径140mでドーナツ形をした縄文時代中期の北貝塚と、長径190mで馬の蹄の形をした後期の南貝塚が連結し、8字形をした貝塚で、日本最大級の規模を誇ります。歴史的価値が特に高く日本文化の象徴としても重要であると評価され、県内で唯一国特別史跡に指定されています。	千葉市
4	センヨウジ チ パワラ 千葉寺と千葉笑い	和銅2年(709年)行基菩薩の開山した古刹で、坂東観音霊場第29番札所です。春の境内は爛漫の桜花、秋には千年イチョウの葉が黄金色に輝きます。毎年4月、天保年間(1830年頃)から続く「千葉寺大師詣」は近在の四国八十八ヶ所の写し巡礼を巡拝します。「戻り鐘」、悪態まつり「千葉笑い」の所伝の地でもあります。	千葉市
5	チバシビジュツカン キョウカワサキ 千葉市美術館(旧川崎銀行千葉支店本館)	昭和2年に矢部又吉の建築により川崎銀行千葉支店として建設されたネオルネッサンス様式の建物です。中央区役所の建設にあたり、建物を当時の状態で利用できるよう、鞆堂方式による保存手法が採用されて現在に至ります。千葉市指定文化財に指定されています。	千葉市
6	チバジンジャ ミョウケンタイサイ 千葉神社と妙見大祭	千葉氏の守護神、北辰妙見尊星王を主祭神として長保2年(1000年)に北斗山金剛授寺として中興開山されました。「通称・千葉の妙見様」と呼ばれ親しまれています。また、毎年8月16日から22日までの日程で行われる妙見大祭は、1127年の第1回以来、一度も休むことなく続いています。	千葉市
7	チバ オヤコサンダイナツマツ 千葉の親子三代夏祭り	武者行列やパレード、威勢の良いみこしの渡御、よさこい鳴子踊りなど多彩なイベントが行われ、千葉市の真夏の風物詩として広く市民の心に定着しています。なかでも、太鼓のリズムに合わせ、2千人規模で街を踊り歩く「親子三代千葉おどり」が一番の見どころです。	千葉市
8	チバ 千葉ポートタワー・千葉 ポートパークと千葉県立 チバケンリツ ビジュツカン 美術館	千葉ポートタワーは県民500万人突破を記念して千葉港に昭和61年(1986年)にオープンした断面菱形のガラスの塔です。千葉県立美術館は煉瓦タイル壁の低層建築が四方に広々と伸びた平面形をしています。この二つの対象的な建物の周りには、広々とした緑地の千葉ポートパークが広がっています。	千葉市
9	マクハリ シントシン 幕張新都心	職・住・学・遊を備えた街です。デザインが統一されたオフィスビル群、幕張メッセやマリスタジアム・ショッピングモールでは多くの人が集い、幕張海浜公園は憩いとやすらぎの場、幕張ベイタウンはヨーロッパ風の街並みが形成されています。	千葉市
10	イイガオカハチマンガウホンデン 飯香岡八幡宮本殿	「一国一社の国府八幡宮」と呼ばれる由緒ある古社で、創建は白鳳年間と伝えられています。正面3間・側面2間の総丹塗や銅板葺の屋根が印象的な入母屋造。太い木組みや組物・彫刻・面取角柱などの部材は力強く簡素で、室町時代末期の特色を示しています。	市原市
11	イチハラ ヤナギタテシンジ 市原の柳楯神事	柳楯神事は、飯香岡八幡宮の秋季大祭(旧暦8月15日)の中心的な神事として行われます。柳は、神降臨のための霊木で、八幡神は武神であるため、柳で楯を作ったとされています。また、飯香岡八幡宮は上総国総社であるため、楯は国司の権威を象徴しているとも言われています。市原地区を出た柳楯は二日かかって飯香岡八幡宮へと到着し大祭ははじまります。	市原市
12	カズサコクブンジヤト 上総国分寺跡、 カズサコクブンニジヤト 上総国分尼寺跡	奈良時代に全国で造られた国分寺の中で、上総国分寺と尼寺跡は、発掘調査によって当時の様子が特に明らかとなり、寺域は僧寺が全国有数、尼寺は全国最大規模を誇っています。尼寺跡では、当時の技法で復元した中門と回廊とともに、出土遺物などを見学できる展示施設が整備されています。	市原市
13	ニチレンデンセツ ノコ 日蓮伝説が遺されている ナカヤマホケキョウジ ナカヤマ 中山法華経寺と中山・若 カミヤカイワイ 宮界限	市川市中山の法華経寺は鎌倉時代に開かれ、日蓮自筆の『立正安国論』、祖師堂、五重塔、法華堂など多数の文化財が残されています。また下総中山駅から山門へと続く参道には多くの店が営まれ、賑やかで風情ある門前町の景観が多くの人に愛されてきました。	市川市
14	ヒガシヤマカイイキネンカン 東山魁夷記念館	市川市東山魁夷記念館は、日本画家・東山魁夷が生涯の大半を過ごした市川市に、2005年に開館しました。東山魁夷は1945年から1999年に逝去するまでの、およそ半世紀にわたり市川市に住み、「私の戦後の代表作は、すべて市川の水で描かれています。」との言葉を残しています。当館は、「人間・東山魁夷」をコンセプトに、資料展示と作品展示を通してその偉大な業績を顕彰し、情報を発信しています。	市川市
15	アンデルセン公園 コウエン	アンデルセン公園は、フィールドアスレチックや19世紀のデンマークの牧歌的風景を再現したメルヘンの丘ゾーンなど、5つのゾーンからなる総合公園です。「アンデルセン」の名称は、船橋市と姉妹都市として結ばれたデンマーク・オーデンセ生まれの童話作家に由来しています。	船橋市
16	ナカヤマケイバジョウ 中山競馬場	JRA(日本中央競馬会)が管理している船橋市の競馬場。昭和2年(1927年)に現在の場所に移転されて以降、有馬記念など多くのレースを開催しています。年末にはクリスマスのイルミネーションが施され、その際設置されるクリスマスツリーは生きた樹木としては国内最大級です。	船橋市
17	フナバシダイジンゴウ カグラ 船橋大神宮と神楽	平安時代の『日本三代実録』や『延喜式』の神名帳にも記載されている由緒ある神社で、正式名称は意富比神社。境内にある灯明台は現存するものの中では最大規模であり、県の有形民俗文化財に指定されています。神楽は現在9座が伝えられ、年6回奉納されます。	船橋市

No.	ちば文化資産の名称	資産の概要	所在市町村
18	ヤツヒガタ 谷津干潟	谷津干潟は東京湾の最奥部に残された約40haの干潟です。シベリアやオーストラリアなど南北の国を行き来する渡り鳥の飛来地となっており、平成5年にラムサール条約登録湿地となった場所で、四季を通じて様々な野鳥と出会えます。周辺は谷津干潟公園として整備されており、野鳥観察や環境学習が行える谷津干潟自然観察センターがあります。	習志野市
19	ケイセイ エン 京成バラ園 ローズガーデン	3万㎡の広さを誇るローズガーデンでは1,600品種1万株のバラを中心に年間を通じ、四季折々の草花や樹木を楽しめます。平成27年には世界バラ会議において、庭園の美しさ、原種などの希少品種の展示や植栽の工夫などが評価され、優秀庭園賞を受賞しました。	八千代市
20	ウラヤス ブンカザイジュウタク 浦安の文化財住宅	東京湾奥に位置する漁師町浦安に建てられていた文化財住宅です。旧市街地に保存されている住宅（旧大塚家・旧宇田川家）や、博物館内で移築された漁家や商家や長屋を見学し、当時と現在の暮らしぶりについて比較することができます。（入館料無料）	浦安市
21	トジョウテイ テイエン 戸定邸と庭園	松戸市の戸定邸と庭園は、水戸藩最後の藩主徳川昭武が造った別邸です。松戸は水戸街道の宿場町で、もともと水戸藩と深いつながりがありました。建物は国重要文化財、庭園は国名勝に指定され、戸定歴史館と共に歴史公園として整備公開されています。	松戸市
22	ヤギリ ワタ 矢切の渡し ノギク ハカブンガクヒ ・野菊の墓文学碑	江戸時代の初期に、江戸川の両側に田を持つ農民が、関所を通らずに江戸と往来したことから、「矢切の渡し」が始まりました。江戸川に残る唯一の渡しであり、伊藤左千夫の小説「野菊の墓」の舞台にもなっています。	松戸市
23	トネウツガ 利根運河	オランダ人技師ムルデルの計画により、江戸川～利根川を結ぶバイパスの水運ルートとして明治23年（1890年）に建設されました。地形に沿って建設された当初の形態・線形が残っている歴史的に貴重かつ、日本初の西洋式運河で「選奨土木遺産」や「近代化産業遺産」の認定施設です。	野田市 柏市 流山市
24	テガヌマハナビタイカイ 手賀沼花火大会	柏・我孫子の夏の夜空の風物詩となっている手賀沼花火大会。打上数は13,500発と県内屈指です。幻想的な水中花火や大迫力のウルトラジャンボスターマイン、子どもたちに人気のキャラクターマインは必見です。	柏市 我孫子市
25	シラカバハ ブンジン サト 白樺派と文人の郷	大正から昭和にかけて、手賀沼沿いには白樺派を中心とした文人の別荘や邸宅が建ち並びました。杉村楚人冠記念館などの文化財建造物と、志賀直哉などの文人を紹介する白樺文学館を「我孫子の大正・昭和文化遺産」として連携させ、我孫子の魅力を多くの一人々に伝えています。	我孫子市
26	フサチク エドブンカイサン 布佐地区の江戸文化遺産	我孫子市布佐地区は江戸時代に利根川の河岸として栄えました。毎年9月に開催される竹内神社の祭礼は五台の山車と神輿が町内を練り歩き、江戸の繁栄を偲ばせます。また手賀沼沿いにある旧井上家住宅は江戸時代中期から始まる手賀沼干拓を担った邸宅と資料を良く残しています。	我孫子市
27	カマガヤダイブツ シュウヘン ショウテンガイ 鎌ヶ谷大仏と周辺商店街 の景観	鎌ヶ谷大仏は、鎌ヶ谷宿の豪商大国屋文右衛門が先祖供養のために建立した鑄造青銅製の釈迦如来の大仏で、高さ1.80m、台座含めて2.30mです。全国的にも駅名となっている唯一の大仏で、付近の商店街には大仏の名前を冠した店名や商品を取り扱っている店があります。	鎌ヶ谷市
28	イノウカブキ 伊能歌舞伎	元禄時代から続いたとされる伊能歌舞伎は大須賀38か村の総鎮守、大須賀大神の春の例大祭に奉納芝居として行われていました。後継者不足により、一時途絶えた時期もありましたが、平成11年（1999年）に復活し今に受け継がれています。毎年11月に定期公演を開催しています。	成田市
29	ナリタサンシンショウジ モンゼンマチ 成田山新勝寺・門前町と ギオンまつり 祇園祭	成田山新勝寺は「成田のお不動さま」の名で親しまれる真言宗智山派の大本山です。近世の貴重な寺院建築として、新勝寺内の5棟が国の重要文化財に指定されました。また、新勝寺門前の表参道は、歴史的建造物が残る江戸情緒あふれる町並みで、夏には約300年の歴史がある成田祇園祭が開催されます。	成田市
30	サクラジョウアウト ジョウカマチ 佐倉城跡・城下町と ”江戸”時代まつり	慶長16年（1611年）に佐倉城築城と城下町整備が始まりました。城には江戸幕府中枢を担う譜代大名が城に入り、近世後半は堀田家が代々城主となりました。城下町は、城の東に連なる台地を造成し、武家屋敷、寺、町屋が配置形成されました。最後の佐倉藩主である堀田正倫の和風邸宅と洋風庭園も残されています。また城下町を舞台として、100人以上からなる時代衣装行列や江戸の時代の体験ができる佐倉“江戸”時代まつりが開催されます。	佐倉市
31	サクラ 佐倉チューリップ フェスタ	印旛沼湖畔にある佐倉ふるさと広場では、4月にチューリップフェスタを開催しています。オランダ風車と印旛沼を背景に、関東最大級・60万本以上の色とりどりのチューリップが一面に咲き揃います。期間中はオランダに関連した楽しいイベントもあります。	佐倉市
32	サクラ アキマツ 佐倉の秋祭り	佐倉の秋祭りは江戸時代より受け継がれる「麻賀多神社祭禮」を母体とし、五穀豊穡に感謝する祭りです。新町通りを中心に山車、御神酒所（屋台）の曳き廻しや御輿の渡御で賑わいます。また、千葉県最大級の麻賀多神社の大神輿の渡御は見ごたえ十分です。	佐倉市
33	チバケンリツサクラコウトウガッコウ 千葉県立佐倉高等学校 記念館	千葉県立佐倉高等学校記念館は、佐倉藩最後の藩主である堀田正倫の援助により、明治43年（1910年）に建設されました。県内の高等学校で唯一、現在も使用されている明治期の木造校舎（現管理棟）であり、明治後期の洋風学校建築の特徴を留めています。	佐倉市
34	カワムラキネンビジュツカン DIC川村記念美術館	近現代美術のコレクションとしては日本でも有数の規模をもつ、佐倉市にある私立美術館です。館内には、巨大な現代美術の作品群がゆったり鑑賞できるよう、広大な展示室が設けられています。	佐倉市
35	ブジュツ タツミリュウ 武術 立身流	佐倉藩の剣術を現在に伝える古武術。その起源は戦国時代にさかのぼり、多くの佐倉藩士たちが学んだ、居合、剣術を中心とした実践的な総合武術です。現在も宗家を中心に門人たちが稽古に励んでいます。	佐倉市
36	ウチクロダ マイ 内黒田はだか参り	内黒田熊野神社で行われる市指定文化財の内黒田はだか参りは、五穀豊穡と無病息災を祈願する伝統神事です。男性の裸坊が、焚き火の側で水をかけ合い身を清め、鳥居と拝殿の間を往復、拝殿に藁を投げ込み豊凶を占い、妙見締めで終了します。	四街道市
37	ぼっち（落花生の 野積み）の風景	地干しが終わった落花生を円筒状に積み上げ、藁の笠を被せたものを「ぼっち」といい、1ヶ月程この状態で乾燥させると豆の苦味が抜け、甘みと油がのり、ほどよい美味しさになります。この「ぼっち」は、八街市ではおなじみの風景で、昔ながらの晩秋の風物詩となっています。	八街市

No.	ちば文化資産の名称	資産の概要	所在市町村
38	キヨド イズミ 清戸の泉	船橋カントリー倶楽部の中にあるこの泉には、平安時代初期に竜神に雨乞いした際に、大雨と共に小さな青龍が落ちて来たという伝説があります。北総地域にはいくつかの龍神信仰に基づく伝説や遺跡が伝えられていますが、清戸の泉はその代表例とされています。	白井市
39	キユウイワサキケスエヒロベツテイ 旧岩崎家末廣別邸	富里市にある旧末廣農場内に建てられた岩崎家の邸宅。近代和風建築として国の登録有形文化財に登録されています。現在は公園化に向けての計画を策定中のため、一般には非公開となっています。	富里市
40	チバケンリツボウソウ 千葉県立房総のむら	千葉県立房総のむらは、房総の伝統的な生活様式や技術を来館者が直接体験するとともに、県内各地から出土した考古資料や武家・商家・農家などの展示を通して歴史が学べる体験型博物館です。	栄町
41	イノウタダタカキユウタク 伊能忠敬旧宅	日本で初めて正確な測量地図を作製した伊能忠敬にゆかりのある旧宅です。伊能家は代々佐原の名主を務め、酒造業や米穀売買を家業としていました。通りに面した店舗と奥の主屋、土蔵で構成されています。現在は無料で公開されています。	香取市
42	カトリシサワラデントウテキケンソウブツ 香取市佐原伝統的建造物 グンホゾンチク 群保存地区	香取市の中心部、佐原地区の小野川と香取街道が交差する地域にある、伝統的建造物が立ち並ぶ景観を今に伝える地区です。江戸時代中期から利根川下流域の舟運の物資集散地として繁栄しました。地区には江戸時代の商家や明治時代の洋風レンガ建築が残されています。また小野川には物資を陸に揚げるための「だし」と呼ばれる施設が残り、当時の面影を伝えています。	香取市
43	カトリジングウ シキネンジンコウサイ 香取神宮と式年神幸祭	祭神は日本書紀に記載のある経津主大神（フツヌシノオオカミ）（別名伊波比主命（イワイヌシノミコト））で、古代から東国の武神として信仰を集めた古社です。境内には多くの文化財や伝承などがあり、長い歴史を伝えています。毎年4月には約800年前より伝わる香取神宮神幸祭が行われ、また、12年に一度、午年に行われる「式年神幸祭」には、3000人ももの氏子が甲冑など歴史的装束で大行列を組み、香取神宮や佐原の町内を2日間巡行します。次回は2026年4月に開催されます。	香取市
44	サワラ ダ シギョウジ 佐原の山車行事	舟運の要衝佐原は、小野川東岸を本宿、西岸を新宿といいます。佐原の山車行事は各鎮守社祭礼の「つけ祭り」が競い合って発展した行事です。本宿は7月に10町内、新宿は10月に14町内で、大人形を載せた山車が、佐原囃子の調べにのって勇壮に巡行します。2016年には、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。	香取市
45	コウザキジンジャ 神崎神社と なんじゃもんじゃ	神崎神社は古来香取の海を航行する船舶の目印として崇敬されてきました。その神崎神社の拝殿右側には、国指定天然記念物「なんじゃもんじゃ（大樟）」があります。また、県指定有形文化財である鎌倉時代初期から室町時代初期にかけての神崎荘及び神崎神社関係の古文書12通と室町時代の書写と思われる神崎宮絵図1点が1巻にまとめられて残されています。	神崎町
46	タ コ マイ 多古のしいかご舞	八坂神社の祭礼「多古祇園祭」の行われる7月25日・26日の夜に神社の境内で演じられます。豊作、無病息災、子孫繁栄などを願う農民たちの素朴な舞で、氏子若衆が猿、獅子、鹿、雨蛙に扮して踊ります。中でも10mの高さのつぐめ柱で披露される猿の曲芸に、見る人は圧倒されます。	多古町
47	イヌボウザキトウダイ 犬吠埼灯台	房総半島東北端の犬吠埼にある総高31.3mの灯台です。明治政府がイギリスから招聘した技師、ヘンリー・ブラントンの設計・施工監督のもと明治7年（1874年）に点灯しました。ほぼ円筒形をしたレンガ造の灯台です。	銚子市
48	チョウシデンテツ エンセン 銚子電鉄とその沿線の フウケイ 風景	銚子電鉄は大正12年（1923年）に営業を開始しました。駅舎には創業当時の姿が残る外川駅舎や、ポルトガル風に改装され売店などの施設が併設された犬吠埼駅等それぞれ特徴があります。沿線にはキャベツ畑やひまわり畑が広がっています。	銚子市
49	チョウシ ショウユジョウソウ 銚子の醤油醸造	銚子の食文化に欠かせないものといえば醤油です。その歴史は古く元和2年（1616年）まで遡り、関東最古ともいわれています。今でも醤油の醸造所がいくつもあり、市内の子供たちが授業の一環で工場見学を行うなど地域に深く親しまれています。	銚子市
50	チョウシ タイコ 銚子はね太鼓	はね太鼓は、江戸時代から銚子に伝わる祭り太鼓です。二人の打ち手が太鼓を担ぎ上げ、首とあばらで太鼓を支え、打っては跳ね回り、太鼓もろとも宙を舞います。極め付けの寝かせ打ちは、相手を倒し、地に這わせ太鼓打ちまくる海の男の力と技の太鼓です。	銚子市
51	ビョウブガウラ 屏風ヶ浦とジオパーク	銚子ジオパークは犬吠埼や屏風ヶ浦といった自然と、その自然に深く関連して形成された縄文時代の遺跡や銚子漁港等をまわり、銚子半島の成り立ちやそれぞれのつながりが学べます。屏風ヶ浦は約10kmの断崖で、標高約40～60mの台地を太平洋の荒波が浸食してきたものです。「銚子の磯巡り」は歌川広重の浮世絵にも取り上げられ、江戸時代以来の観光名所です。	銚子市
52	ハンコウジ 飯高寺	飯高寺（飯高檀林跡）は、江戸時代の日蓮宗の学問所（檀林）です。天正8年（1580年）から明治7年（1876年）に廢檀となるまで、多くの名僧を輩出しました。参道には杉の巨木が並び、当時の建物は学僧達の姿を感じさせてくれます。	匝瑳市
53	トウガネエキニシグチ レキシテキ 東金駅西口の歴史的 ケンソウブツ 建造物群	東金駅西口に残る国登録文化財「多田屋本社社屋・店舗」を拠点として、周辺にある古く文化的価値の高い建造物群も含めて活用するため、その見学会や説明会等を実施します。また地元のイベントや商店街と連携し、楽しく原風景の町並みを堪能します。	東金市
54	ハッカクコ 八鶴湖	八鶴湖は、徳川家康が鷹狩りを楽しむ際の宿泊所として造った東金御殿の庭池として整備されました。周囲には約300本の桜が植えられ、桜の名所として知られているほか、湖畔には国有有形文化財に指定された建物や古刹などがあり、市随一の名所です。	東金市
55	カジンイトウサチオ セイカ 歌人伊藤左千夫の生家	伊藤左千夫は元治元年（1864年）にこの地に生まれ、上京し正岡子規の門に入り短歌を始めました。子規没後はアララギ派の総帥として活躍し、土屋文明、齋藤茂吉など有名な歌人を世に送り出しました。生家は近代文学史の先駆者として大きな足跡を残した文学者の家です。	山武市
56	サンムシ 山武市サマーカーニバル	山武市サマーカーニバルは、市民のふるさと意識の高揚や心のふれあいの場として開催し、もって観光客の誘致と地域産業振興を図ることを目的としています。旧蓮沼村の時から数え今年で29回目開催し、毎年約1万5千人以上の人々が来場します。	山武市

No.	ちば文化資産の名称	資産の概要	所在市町村
57	ケンセイハッショウチ 県政発祥の地 ミヤザクケンチョウアト 「宮谷県庁跡」	明治元年(1868年)7月、天領を管理するために、久留米藩士の柴山典が、新政府から上総房州監察兼知県事に任命されました。その管轄地は、上総・安房と常陸の一部を含み、明治2年(1869年)2月に宮谷県と命名され、本國寺の建物が、その庁舎として使用され、現在まで残されています。	大網白里市
58	ナガタアサヒレン シシマイ 永田旭連の獅子舞	伊勢の太神楽の系統で、慶長年間に隣村の萱場大村谷(茂原市)から伝わったといわれています。元禄13年(1700年)、永田村の鎮守矢口神社が、小中村本社から分宮して富谷に建立されたとき、その鎮座祭に奉納しています。現在、地域の行事には欠かせない郷土芸能として親しまれています。	大網白里市
59	シバヤマ マツリ 芝山はにわ祭	「はにわの町」として知られる芝山町で毎年、11月の第2日曜日に開催される祭りです。はにわ祭では、古代人に扮した町内の小中学生等57人が「殿塚・姫塚」に出現した後、町内の芝山仁王尊、芝山公園等で儀式やパレードを行い、最後に古代人が現代人へのメッセージを残して昇天します。	芝山町
60	キライゴウ 鬼来迎	鬼来迎は毎年8月16日に、横芝光町虫生の広済寺で行われる仏教劇です。地獄の責め苦と救済を描いたお話と広済寺縁起譚が演じられます。鬼婆に赤ちゃんを抱いてもらおうと健康に育つという言い伝えがあります。また寺には室町時代に遡る面も残されています。	横芝光町
61	モバラタナバタ 茂原七夕まつり	毎年開催される、茂原市の夏の一大イベントです。会場を埋め尽くす色とりどりの華やかな七夕飾り、もばら阿波おどりやYOSAKOI鳴子踊り、市内小学校の鼓笛隊パレードや天の川キャンドルナイトなど、3日間に渡り様々なイベントが催されます。	茂原市
62	アクトガワソウ 芥川荘	一宮は明治末期から昭和初期にかけて「東の大磯」と呼ばれるほどの別荘地でした。文人・芥川龍之介も2度一宮を訪れており、彼が滞在した建物が「芥川荘」として現在も保存されています。のちに妻となる女性に恋文を出した場所としても有名です。	一宮町
63	タマサキジンジャ モンゼンマチ 玉前神社とその門前町	玉前神社は、上総国一之宮として、平安時代より信仰を集めており、現在の町名の由来となっています。その門前町は、その信仰とともに発展し、江戸中期の建築である玉前神社社殿をはじめ、江戸から明治期に建築された建物群が当時の面影を残しています。	一宮町
64	ツリガサキカイガン ケイカン 釣ヶ崎海岸の景観	玉前神社の例祭「上総十二社祭り」(県指定無形民俗文化財)が行われる場所で、玉前神社の祭神・玉依姫命に関係のある周辺神社の神々が1年に1回集う神聖な場所です。また東京2020オリンピック競技大会のサーフィン競技会場となっています。	一宮町
65	ミョウラクジ ミョウラクジ モリ 妙楽寺と妙楽寺の森	妙楽寺は、天然記念物に県指定されている自然豊かな森の中にあります。御本尊は丈六の大日如来坐像で、脇侍は不動明王立像と毘沙門天立像で、作風はそれぞれ異にしていますが、いずれも平安時代後期の造像で、国・県文化財に指定されています。	睦沢町
66	イワスマ シシマイ 岩沼の獅子舞	長生村に伝わる2人立ちの獅子舞で、約400年前から始まったといい、地区の氏神である皇産霊神社で奉納されています。毎年10月19日頃に神社境内の仮舞台で演じられます。舞は「おから」「羽手」などがあり、なかでも「乱玉の舞」は大梯子の上に乗って演じるため、梯子獅子舞として知られています。	長生村
67	シラコジンジャ 白子神社	本殿は1758年に再建され県の文化財に指定されています。白い亀と白い蛇が海岸に現れたという白亀白蛇の故事が名前の由来となっています。末社の面足神社(イケメンさま)は美男美女の神様とされており、男女良縁の継続をもたらすとして密かに人気です。	白子町
68	ナガラヨコアナグン 長柄横穴群	横穴墓は、古墳時代の終わりに、丘陵斜面に横に穴を掘り造られたお墓の名称です。全国に分布していますが、長生郡内の横穴墓は、「高壇式」と呼ばれる一段高い特殊な横穴墓が多く、特に「史跡長柄横穴群」は、代表的な遺跡として国の史跡に指定されています。	長柄町
69	カサモリデラカンノンドウ 笠森寺観音堂	「四方懸造」という日本唯一の構造を持つ建造物で、国の重要文化財に指定されています。縁起では長元元年(1028年)建立と伝えられますが、現存する堂は安土桃山時代の再建と考えられます。坂東三十三観音の札所でもあり、多くの来訪者で賑わっています。	長南町
70	カツウラアサイチ 勝浦朝市	天正19年(1591年)に開催以来、420年以上の歴史を誇り、魚介類、野菜、果物、花のほか、工芸品など様々なものが揃う勝浦市で開催されている朝市です。岐阜県の高山、石川県の輪島と共に日本三大朝市の一つと言われています。	勝浦市
71	カツウラ 勝浦タンタンメン	醤油ベースのスープに真っ赤なラー油、豚挽肉、みじん切りの玉ねぎが入るのが特徴の勝浦市のご当地ラーメンです。約50年以上前から食べられており、漁師や海女が寒い海仕事で冷えた体を温めるために開発されたと言われております。	勝浦市
72	かつうらビッグひな祭り	市内各所に約30,000体のひな人形が飾られ、街はひな祭り一色!市内浜勝浦の遠見岬(とみさき)神社の60段の石段一面におよそ1,800体の人形が飾られ、夕暮れ時からライトアップされます。期間中の土日は歩行者天国になり各種出店が行われます。	勝浦市
73	オオハラ マツ 大原はだか祭り	江戸時代から続く関東随一といわれる勇壮な祭りで見所は二つ。一つは五穀豊穰、大漁祈願をした後、十数基の神輿が海中でもみ合う「汐ふみ」。もう一つは夕暮れの会場が数え切れないほどの提灯で埋まり、絢爛豪華な絵模様を見せる「大別れ式」です。	いすみ市
74	テツドウ ケイカン いすみ鉄道の景観	いすみ鉄道は、いすみ市・大多喜町をまたがって走る26.8kmの路線です。自然豊かな沿線には養老溪谷や、桜・菜の花との組み合わせで美しい景観が広がっており、ローカル列車の旅を楽しむ多くの人々が訪れます。	いすみ市 大多喜町
75	オオタキジョウ ジョウカマチ 大多喜城と城下町	夷隅川が麓を洗う急崖の上に築かれた大多喜城跡は、現在本丸跡に天守閣を模した県立中央博物館大多喜城分館が建ち、二の丸跡に大井戸や薬医門が残されています。また城下町の大通りには大多喜藩御用達を勤めた渡辺家住宅等も残されています。	大多喜町
76	オオタキマチヤクバチョウウシヤ 大多喜町役場庁舎 ナカ チョウウシヤ (中庁舎)	昭和34年(1959年)に建築家・今井兼次の設計により建設されました。斜面に立地した地上1階・地下1階鉄筋コンクリート造の一字形式の平面で、外部に面する地階に議場があります。各所にモダニズム建築の特徴を示す一方で、要所にはモザイク壁画などの装飾がされています。	大多喜町
77	ニッセイボクサンゴクコウツウハッショウ 日西墨三国交通発祥 キネンノヒ 記念之碑	1609年メキシコへ航海中のサンフランシスコ号が嵐によって座礁。当時の村民総出で救助を行いました。その史実が日本・スペイン・メキシコの交流発祥の発祥といわれています。未来永劫、先人たちの行動を伝えるべく海岸付近の高台に記念碑を建立しました。	御宿町

No.	ちば文化資産の名称	資産の概要	所在市町村
78	クジラのタレ	ツチクジラの赤身肉を調味料に漬込み、天日で干した食品です。血抜きをしないツチクジラの肉を使うため、色は黒く味には独特のクセがあり、主に酒肴やおかずとして用いられる安房地域の特産品です。	安房地域
79	アワノクニイチノミヤ アワジンジャ 安房国一宮 安房神社	平安時代、延喜式神名帳に「名神大社」と格付けされ、鎌倉時代以降は安房国一宮、明治時代には官幣大社に列している安房随一の大社です。天富命が四国の阿波から海路房総へ渡って開拓をおこなった際に、上陸地に祖神を祀ったことに由来すると伝えられています。	館山市
80	オキノシマシウヘン ケイカン 沖ノ島周辺の景観	「歩いて行ける無人島」のキャッチフレーズで有名な沖ノ島は、千葉県の南に位置する館山湾の南側に位置する面積約4.6ha、周囲約1kmの陸続きの小島です。また、2017年制作の映画「先生！、、好きになってもいいですか？」のロケ地にもなりました。	館山市
81	コタニケジュウタク アオキシゲル 小谷家住宅 青木繁 ウミ サチ キネンカン 「海の幸」記念館	小谷家住宅は漁業で栄えた布良に残る明治中期の漁家です。屋根を棧瓦葺き、一部を大壁造りとした防火造りとし、伝統的な間取りを脱して、近代的間取り示した特徴があります。また、明治期の洋画家青木繁が寄寓して「海の幸」の制作に係った家としても広く知られています。	館山市
82	タテヤマワシハナビタイカイ 館山湾花火大会	毎年8月8日に館山湾で開催され、多くの観光客が訪れています。館山湾は海岸線が南北に弧を描いているため、海沿いのどこからでも花火がよく見ることができ、湾いっぱいに打ち上げられる約10,000発もの花火は、館山の夏のメインイベントとなっています。	館山市
83	アワコクシサイ 安房国司祭やわたんまち	9月中旬に鶴谷八幡宮で行われる安房地方最大の祭礼です。館山市、南房総市の各地から神輿や山車が集まる寄り合い祭りであるのが特徴で、現在は11社の神輿と5社の山車・お船が集結します。	館山市 南房総市
84	フラワーライン	館山市下町交差点から南房総市和田町までの約46キロメートルの海岸線の道路が房総フラワーラインと呼ばれます。伊戸から相浜までの間では、季節の花々が道沿いを彩ります。昭和61年（1986年）には「日本の道百選」にも認定されました。	館山市 南房総市
85	オオヤマセンマイダ 大山千枚田と タナダ ヨマツ 棚田の夜祭り	大山千枚田は、嶺岡の山並みの中にあります。「日本の棚田百選」の中では、東京から一番近い棚田で、3.2haに375枚を数える棚田は階段状に並び、日本の原風景ともいえる素晴らしい田園風景が広がっています。また、秋には3,000本の松明と10,000本のLEDで織りなす「棚田の夜祭り」が開催され、幻想的な夜景を映しだします。	鴨川市
86	セイチョウジ キヨスミヤマ 清澄寺と清澄山	清澄山の山頂近くに伽藍を構える清澄寺は奈良時代に開創され、若き日蓮が修行し、立教開宗した地と伝えられています。国指定の「清澄の大杉」をはじめ巨杉に覆われた境内周辺には建造物や石塔、やぐらなどの多くの文化財が残るとともに、周辺の自然と一体となった霊場として信仰を集めてきました。	鴨川市
87	ニエモンジマ 仁右衛門島と ニエモンキョウタク 仁右衛門旧宅	鴨川市太海浜の目前にぽっかり浮かぶ面積約3万㎡の島で、鎌倉時代の初代平野仁右衛門以来平野家が1戸だけ居住している島です。源頼朝が戦いに敗れて安房へ逃れた際に、ご先祖がかくまったお礼に与えられたという伝説が残された風光明媚な小島で、渡し船で行き来できます。	鴨川市
88	ミネオカマキ 嶺岡牧	嶺岡山一帯の地域は、江戸時代「嶺岡牧」と呼ばれ、馬を養成する江戸幕府直轄の牧でした。8代将軍徳川吉宗の時代に、牛を放牧し、日本で初めて牛乳から乳製品を作ったことから、日本酪農発祥の地と言われ、明治以降の日本の乳業の発展に貢献しました。	鴨川市 南房総市
89	シラハマア マ 白浜海女まつり	南房総に夏の訪れを告げる白浜海女まつり。海女まつりは、漁業に従事する女性を尊敬しながら、海女操業の伝承と安全・豊漁祈願などを目的に毎年夏に開催されています。最大のハイライトである海女の大夜泳は、夜、松明を手にした約100人の海女さんが白装束姿で海に入り、幻想の世界を醸し出します。	南房総市
90	タカベジンジャ ホウチョウシキ 高家神社と庖丁式	日本で唯一、料理の祖神をまつる高家神社は、味噌、醤油の神様として全国に知られています。庖丁式は、烏帽子・直垂をまとい、庖丁とまな箸を用いて、いっさい手をふれることなく真鯛・鯉・真魚鱈などを調理します。5月、10月、11月の年3回行われます。	南房総市
91	キサラツミナト 木更津港まつり	古くから港町として栄えた木更津に、郷土の繁栄の基礎を築いた先覚者の霊を慰めようと、昭和23年にスタートしました。毎年8月14、15日に開催され、市内最大の祭りとして両日とも多くの見物客が訪れます。	木更津市
92	トウキョウワン 東京湾アクアラインと ウミ ケイカン 海ほたるの景観	神奈川県川崎市と木更津市をつなぐ高速道路で、川崎側はトンネル、木更津側はアクアブリッジと呼ばれる橋で、その間に人工島の海ほたるパーキングエリアが設けられています。世界で最大規模の海洋構造物であり、テレビや映画にも多く登場する日本土木界が誇る文化的景観です。	木更津市
93	オオトミ カグラ 大戸見の神楽	稲荷神社の祭礼に神楽殿で奉納されます。2人立ちの獅子神楽で楽が進むにつれて、人が段々と成長していく過程を表現しています。現在、2つの神楽組が神楽を伝えています。	君津市
94	クジュウクタニテンボウコウエン 九十九谷展望公園	この公園からは、高宕山など上総丘陵が幾重にも連なる山並みの風景を眼下に一望することができます。これら山谷の織り成す景観を総称して九十九谷と呼ばれています。東山魁夷の出世作「残照」のモチーフとなっています。	君津市
95	ミシマ ボウジュツ カッコマイ 三島の棒術と羯鼓舞	三島の棒術と羯鼓舞は、三島神社の祭礼で演じられます。かつて源頼朝の家来がこの地に土着し、武道に励みながら三島神社に奉納試合として行ったのが棒術の始まりとされています。また、羯鼓舞は雨乞いにまつわる故事をもとに奉納されます。	君津市
96	タケオガキ 竹岡式ラーメン	チャーシューのうま味が溶け込んだ醤油ダレがスープの濃味ラーメンです。薬味は玉葱の角切りです。発祥は漁師町である富津市竹岡にあるラーメン店でしたが、現在では県内各地に、独自に工夫した竹岡式ラーメンの店がたくさん出ています。	富津市
97	カズサボ ギジュツ 上総掘りの技術	上総地方で考案された井戸掘削技術です。少人数で千メートルもの掘削ができることから、天然ガスや石油の掘削にも利用されました。この技術は、平成18年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。	袖ヶ浦市

No.	ちば文化資産の名称	資産の概要	所在市町村
98	フトマ ズシ 太巻き寿司	太巻き寿司は、お正月や春祭り、お盆や秋祭り等、年間を通じてお祝い事や行事に各家庭で作られており、祭り寿司とも言われています。お祝い事や行事には親戚中が集まり、酒を酌み交わし世間話をしながら楽しいひと時を過ごしていたそうです。	県内全域
99	ケイヨウリンカイ 京葉臨海コンビナートの ヤケイ 夜景	千葉県の東京湾臨海部では、石油化学、鉄鋼、エネルギー等の工業地帯が形成されています。夜になると、工場や港の光が、昼間とは別の景観を工業地帯に映し出します。	千葉市 市原市 袖ヶ浦市
100	シモウサミヤマ シチネンマツ 下総三山の七年祭り	この祭りは、千葉市・船橋市・習志野市・八千代市から九つの神社が集まる下総地方を代表する寄合祭りです。行事は9月の小祭と11月の大祭からなり、6年ごとの丑年および未年に行われ、数え年で7年ごとになることから七年祭りと呼ばれています。	千葉市 船橋市 習志野市 八千代市
101	シオヒガ 潮干狩り	木更津の海岸部は、干潮時には沖合い数百メートルの干潟が広がる東京湾で一番広い海岸です。市内で6箇所の海岸で潮干狩りを楽しむことができ、潮干狩り場で採れるあさは、 「肉厚・味がしっとり・ジューシー」 でリピーターが多いことで知られています。	船橋市 木更津市 富津市
102	インバスマ シュウヘン サトヤマケイカン 印旛沼と周辺の里山景観	洪水被害の防止、農地開拓、飲料水・工業用水の確保などのため1950～60年代に干拓と水資源開発が進められ、堤防や排水機場等が整備されました。県内の生活や産業を支える重要な水がめとなっているだけでなく、周辺の水田や里山の風景とともに憩いの場にもなっています。	成田市 佐倉市 八千代市 印西市 酒々井町 栄町
103	コウクウカ ガクハクブツカン 航空科学博物館と ナリタクウコウ ケイカン 成田空港の景観	航空科学博物館は、成田空港のA滑走路南端に位置し、巨大な成田空港や離着陸する飛行機が間近に見られます。YS11試作機など数多くの飛行機が展示され、シミュレーターなどの体験展示や、飛行機を眺める展望レストランなど飛行機好きに愛されてきました。	成田市 芝山町
104	テンボウスイコデン ツタ 天保水滸伝を伝える チ ゆかりの地	飢饉や疲弊で社会不安な天保時代（1830～44年）に実在した、笹川繁蔵と飯岡助五郎の二人の侠客の勢力争いは、「天保水滸伝」という物語で浪曲や講談、そして映画となり有名となりました。町にはゆかりの品や場所も多く残り昔から語り伝えられてきました。	旭市 東庄町
105	コミナトテツドウ 小湊鉄道と エンセン ケイカン その沿線の景観	市原市の五井駅と大多喜町の上総中野駅間を結ぶ小湊鉄道は、大正14年（1925年）に五井～里見間で開業、昭和3年（1928年）に上総中野まで開通しました。当時に近い状態のまま使用されている駅舎などが沿線の田園風景に溶け込み、穏やかな景観を構成しています。	市原市 大多喜町
106	ナミ イハチ ランマチヨウコク 波の伊八（欄間彫刻）	初代「伊八」武志伊八郎信由は、江戸時代後期の彫刻家です。「波を彫っては天下第一」といわれ「波の伊八」の異名で知られるようになりました。その作風は、浮世絵師として有名な葛飾北斎に大きな影響を与えたと言われています。	鴨川市 南房総市 いすみ市 等
107	ノコギリヤボウシュウイシシキリバ 鋸山の房州石石切場と ニホンジ 日本寺	富津市と鋸南町の境にある標高329.5mの山で、昭和期までは房州石の石切場となっていました。また、中腹にある日本寺は、奈良時代創建と伝わる関東最古の勅願所で、千五百羅漢像や日本一の高さの磨崖仏の大仏など石仏の宝庫として知られています。山麓から山頂までロープウエーで3分程で行くことができます。	富津市 鋸南町
108	カズサジュウニシヤマツ 上総十二社祭り	「上総十二社祭り」は、上総国一之宮の玉前神社を中心に、祭神・玉依姫とその一族を祀る神社の祭礼です。例大祭では、一宮町といすみ市の五社・九基の神輿と神馬が釣ヶ崎海岸の祭典場に集結し、上半身裸の男たちが神輿を担ぎ、波打ち際を駆け巡る「汐踏み」が勇壮に行われます。	いすみ市 一宮町
109	クジュウクリチイキ タイリョウブシ 九十九里地域の大漁節	九十九里浜の沖合は、鰯が多く回遊し、長く続く砂浜は遠浅のため、江戸時代から地曳網漁が発達した「いわし文化」が花開きました。九十九里地域の大漁節は、その活気に沸いた九十九里浜の様子をうたった歌です。	大網白里市、九十九里町 等の九十九里地域
110	クジュウクリハマ ケイカン 九十九里浜の景観	九十九里浜沿岸は古来から多くの文化の跡が残されています。江戸時代以降はいわし漁等の漁業が盛んとなり、神輿を担いで浜に降りる「浜降り」や「潮踏み」等と呼ばれる習俗が現代まで続いており、海との深いつながりを感じられます。また、高村光太郎の「智恵子抄」の一節「九十九里浜の初夏」等多くの文学作品の舞台となっています。	九十九里浜 沿岸
111	なめろう	南房総の郷土料理で、あまりの美味しさに皿までなめてしまう事から名前が付けられました。アジやイワシ等の魚の身と、ネギ、シソ、生姜、味噌を混ぜ、包丁でたたきながら練り合わせる料理です。南房総のお鮓屋を中心に各地で食べることが出来ます。	沿岸地域